

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	たけのこキッズⅡ			
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～	令和8年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数)	30
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～	令和8年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○学校の終了時間に合わせて送迎を行っていることもあり、児童が利用しやすい。	○保護者や学校と連携を取ることで、児童の困りごとを直接聞くことができる。 ○学校への送迎を行うことで、少しの時間だが学校での様子や先生とのやりとりを観察することができている。	○学校や家庭との連携をより強めることができると保護者の満足度が向上し安心してやりとりを深めていきたい。
2	○部屋数が多く、子どもの特性に応じた対応や個別対応ができています。	○集団が苦手でも児童の特性や学年によって必要な支援や必要に応じて個別での活動を行うことができています。	○特性を把握し、その時々調子によって適切に対応することで、それぞれの力を伸ばしていきたい。
3	○活動内容の計画が幅広く、児童が飽きないように過ごすことができています。	○新しい活動を行う時には視覚的にも説明を行い、できたという達成感を感じることができるように工夫している。また、児童の特性や発達状況を職員間で共有し、児童に合わせた楽しみ方を提供することができている。	○外部講師も含めて新しいことに色々と挑戦することで飽きない活動を行い、成長を促していきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○保護者との連携や相談時間が十分でないことがある。	○いつでも相談してもらうようにしているが、職員に気を遣って相談できないことがある。	○タイムリーに様子を伝える工夫も必要だと感じている。 ○保護者が相談しやすい環境や雰囲気を作っていきたいと思う。
2	○児童の人数に対して職員数が十分でなかったり専門職員の補充が必要だと思われる。	○保護者や地域での支援体制を強化したい。	○職員1人1人のスキルを向上し、専門職員等の補充により全体的な支援体制や方針の具体性を明確にしていきたい。
3	○研修機会を増やしていきたい。	○鹿児島での研修機会が増えているので、それを活かして職員全体のスキルを向上していく必要がある。	○日々の業務を効率化し、外部研修を受講し、その知識を法人全体に広げることができるようにしていきたい。